

蔵小だより

名張市立蔵持小学校

9月号 No.2

平成30年9月18日

全国学力・学習状況調査結果の分析及び今後の取組

本年4月17日（火）に6年生を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」について、その結果が公表されるとともに、個々の子どもたちの結果が届きました。

本校としての児童の学力の定着状況、学習状況、生活習慣等の分析結果や今後の取組について、概要を以下のように報告します。

1 教科についての調査結果

(1) 平均正答率の全国との比較

本校の平均正答率は、

- ・国語A（主に「知識」を問う問題）では、全国平均を下回っています。
- ・国語B（主に「活用」する問題）では、全国平均を下回っています。
- ・算数A（主に「知識」を問う問題）では、全国平均を下回っています。
- ・算数B（主に「活用」する問題）では、全国平均を下回っています。
- ・理科では、全国平均を下回っています。

このことからわかるように、国語・算数・理科ともに、厳しい結果となっています。

(2) 結果から見られる本校の傾向（強みや弱み）

教科	結果から見られる本校の傾向（強みや弱み）	
国語	強み	<ul style="list-style-type: none">・場面や相手に応じた言葉遣いの理解ができています。・無解答率が低い。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">・漢字の読み書き、言語の意味理解が不十分である。・文章から、言葉の意味を読み取って想像する力が弱い。・説明文の内容を要約したり、「何を伝えようとしているのか」を理解したりする力が弱い。・長い文章を的確に読み取り、条件を満たして自分の考えを記述する力が弱い。
算数	強み	<ul style="list-style-type: none">・「百分率」や「割合」など、日常生活に密着した計算はできている。・無解答率が低い。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">・「割り算」「角の測定」「空間認知」「円周率」の問題が解けていない児童が多い。・「図形」に関する問題が特に弱く、立体図形をイメージしながら考える力が弱い。・「数と計算」については、低学年からの学習内容が定着していない。・文章問題を読み解く力が弱い。
理科	強み	<ul style="list-style-type: none">・「体の動き」「関節と筋肉の仕組み」等、生命に関する問題の正答率が高い。・観察や生活体験をしたことがある問題については内容をよく理解している。
	弱み	<ul style="list-style-type: none">・「水の働き」「電流の働き」「溶解」「水の流れ」に関する問題等、実験や体験が十分でない問題の正答率が低い。・「たい積・運搬・浸食」等、用語の理解ができていない。・資料やグラフから必要な情報を読み取って答える力が弱い。・必要な語句を使ってまとめたり、自分の伝えたいことを簡潔にまとめたりする力が弱い。

2 児童質問紙調査おける特徴的な結果

良い傾向と思われること

- ・今住んでいる地域の行事に参加している割合が高い。
- ・算数の学習に対する興味関心が高い。
- ・算数の授業で新しい問題を解こうとする意欲がある。
- ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている割合が高い。
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる割合が高い。



課題があると思われること

- ・毎日、決まった時刻に寝ている割合が低い。
- ・家で、授業の予習・復習をしている割合が低い。
- ・学校の授業以外に、普段（月曜から金曜）、1日あたり読書をする時間が10分以下の割合が高い。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある割合が低い。
- ・理科の授業で、観察や実験の結果から、分かったことを考えている割合が低い。
- ・理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている割合が低い。

3 学校質問紙調査おける特徴的な結果

- ・算数の授業において、少人数による指導を行い個に応じた指導を行っている。また、補足的な学習指導を行っている。
- ・地域の方を講師として招いた授業を行ったり、保護者やボランティアとの協働による取組をしたりしている。
- ・理科の授業では、子どもたちが観察や実験をする授業を行っている。
- ・学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる。

4 今後の主な取組（各学年の実態に応じた取組を進めます）

(1) 授業改善に取り組みます

- ・「めあて」「ふりかえり」の質の向上を図り、漢字の読み書きや計算等、基礎・基本になる内容が定着するよう習熟方法を工夫します。
- ・子どもたちが、授業の中に自分の考えをノート等書いたりみんなの前で説明したりする機会を意図的に設定します。
- ・子どもたちの学力の状況を把握し、少人数指導（算数）やプリントを活用して子どもの力を伸ばすような指導方法を工夫します。
- ・日頃から本を読む習慣を身に付けさせるため、全校で朝学の時間に読書に取り組んだり、図書室を利用して読書に親しんだりする取組を進めます。

(2) 学習規律を見直し、徹底を図ります

- ・ミニコミタイムを設けたり、場所や話す対象に合わせて声の大きさや速さを考えて話をさせたりするなど、相手を意識した話し方を充実します。
- ・ペア学習やグループでの話し合いを取り入れ、自分の思いを分かりやすく伝える活動を取り入れます。
- ・教室の整理整頓や掲示物を工夫して、子どもたちが落ち着いて学習できる環境を整えます。

(3) 家庭の協力を得て、学習習慣の定着を図ります

- ・家庭学習の手引きに記載している各学年での家庭学習の内容（自主学习ノート等）、時間を意識した取組を進めます。
- ・家庭での読書習慣を身につけるため、読書カードやファミリー読書の取組を推進します。
- ・「生活チェックシート」を活用して、規則正しい生活習慣を身に付けさせる取組を進めます。

5 おわりに

本年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率は、上記に示す通りです。

今後は、学校と家庭・地域が一体となって、子どもたちの学力向上と豊かな学びに向けた取組を進めてまいります。ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。